

\* 看護情報学特論Ⅰ  
-私の住むコミュニティの  
健康チェック-

看護情報学専攻  
M1 藤田美保

2年前からマンションの理事会活動  
マンション内外（周辺自治体）の関係形成  
活動を通して、コミュニティと健康の関係  
に関心

⇒居住地の「コミュニティの健康」について  
考えてみよう！

\* コミュニティの健康を  
テーマに取り上げた理由

# \*横浜市都筑区のまちづくり方針

(都筑区HP : <http://www.city.yokohama.lg.jp/tsuzuki/kusei/pdf/soan4syou.pdf>)

- 1 みどりと水の環境づくり (都市環境の方針)
- 2 安全で安心できるまちづくり (都市防災の方針)
- 3 バランスの取れた土地利用の実現 (土地利用の方針)
- 4 都市機能の充実と生活しやすい環境づくり  
(都市活力の方針)
- 5 交通体系の整備 (都市交通の方針)
- 6 都筑らしい文化の醸成 (都市の魅力の方針)

\*私の住むコミュニティの  
まちづくり方針

平成8年1月

(都筑区制開始後、都筑区としてデータを出した年)

人口総数：117,805 平均年齢：34.56歳

15歳未満：全体の19.6% 65歳以上：全体の6.8%



平成27年1月

人口総数：210,751人 平均年齢：40.49歳

15歳未満：全体の17.4% 65歳以上：全体の15.9%

区制開始時から比べ人口は倍増、平均年齢は横浜市18区中一番若い区である。

## \* 都筑区の人口の推移

<http://www.city.yokohama.lg.jp/ex/stat/jinko/age/1401/tsuzuki-j.html>

\*都筑区は「健康に生活できるまち」なのか？

\*都筑区が「健康に生活できるまち」であることを住民目線で客観的評価はできないか？

\*都筑区を終の住処と  
考える住民としての疑問

# \* コミュニティの健康チェックリスト

国土交通省 健康コミュニティガイドライン部会 作成

([http://www.ibec.or.jp/CASBEE/casbee\\_health/index\\_health.htm](http://www.ibec.or.jp/CASBEE/casbee_health/index_health.htm))

健康コミュニティチェックリストとは、コミュニティを中学校区単位として設定し、コミュニティ環境が良好でない場合にもたらされる可能性のある健康障害を、住民自らが自己診断するための簡易診断ツール。

住民自らがコミュニティの問題に気づき、改善のための行動や自治体・民間ディベロッパーによるチェック・改善へと進むための入り口であり、「健康」をきっかけにコミュニティを見直してもらうことを主眼。

\* 「コミュニティ」 and  
「健康」で検索

\* コミュニティ健康チェックリストの概要説明  
「チェックリストを用いた評価を通じて、  
お住まいの地域において充実している点や  
配慮の必要な点に気づき、健康的な生活に  
向けたステップを踏み出しましょう。」

⇒早速、やってみました。

\* コミュニティの健康  
チェックリスト

- \* 1. 機能阻害要因の除去に関する項目  
暑さ・寒さ、空気汚染、騒音、交通事故、段差・バリアフリー
- \* 2. 参加・活動促進要因の充足に関する項目  
生活サービス施設、公共交通機関、公園・広場、交流・地域活動
- \* 3. 住んでいる都道府県を選択し、上記項目の下位項目全36問に回答  
(よくある、たまにある、めったにない、全くないの4択)
- \* 4. 地域のタイプを選択 (都市圏都市部、都市圏郊外住宅地、  
都市圏ニュータウン、地方都市街なか、地方都市郊外・農村部)
- \* チェックリストの合計スコア算出：115点満点中の○点
- \* 地域の健康ランキング：全国10,000人のアンケート結果より全国100  
地域中の順位
- \* 項目ごとのスコア：満点を100%として自スコアを全国の平均と比較

# \* 健康チェックリストの内容



つっこみどころ満載  
ながら

- \*おかげさまで都筑区は高得点・高ランキングでした  
ただ、コミュニティ健康チェックリストに入力しても...  
自地域のスコアとランキングが分かり、各項目ごとの  
全国平均との比較が分かるのみ

現状を誰かに伝えるandフィードバックを受ける  
仕組みはない

## 双方向ではない

それなりの調査・研究をもとに作成した（であろう）、  
コミュニティ健康チェックリストですが、利用した住民の  
現状をチェックリストの改善や健康的なまちづくりに生か  
す具体的仕組みがない

横浜市・都筑区のHPにもリンクなし 意識して検索した人だけの利用ってこと？

\***双方向性の不足**

国交省主導  
ですから

\*そもそもCASBEEは、健康だけでなく  
建築環境の性能を総合的に評価するツール

CASBEE健康（コミュニティチェックリストはその一部）

他にCASBEE戸建・CASBEE住戸ユニット・CASBEE都市

などがあります

ちなみに、横浜市では建築物環境配慮制度として、CASBEE横浜「戸建」  
の評価結果を活用中。

（建築主は建築物環境配慮計画としてCASBEE横浜「戸建」の評価結果を横  
浜市に届出する。評価結果及び建築計画の概要は横浜市ホームページ等  
で公表し住民への情報提供。）←確かに国土交通省的な活用

きっと自治体と利用者相互のやり取り  
は発生している

\*横浜市のカSBEED活川状況

- \*健康問題は厚生労働省の管轄だから国土交通省は踏み込めないのでしょうか？
- \*単に厚生労働省と国土交通省が連携できていないだけなのでしょうか？
- \*実は健康チェックリストの精度に問題があるのでしょうか？

もしそうであるなら、

- \*市区町村レベルでのセクションフリーな連携を目指せば、チェックリストの精度の向上・健康増進のための具体的な環境対策を住民目線で検討できるのではないのでしょうか？

\* コミュニティ健康チェック  
リストの課題

\* ご清聴ありがとうございました。

\*健康維持増進住宅研究委員会 12.03.16 資料№8

「健康コミュニティガイドライン部会 活動概要」

\*一般社団法人 日本サステナブル建築協会発行

「コミュニティの健康性評価ツールCASBEE コミュ

ニティの健康チェックリストの概要」

\*中山和弘先生 看護情報学特論2015年講義資料

\*参考資料